

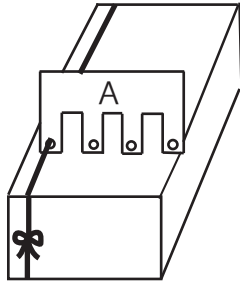
北海道博物館の前身である旧北海道開拓記念館時代におこなった体験学習です。

とびだせ! 体験学習室③

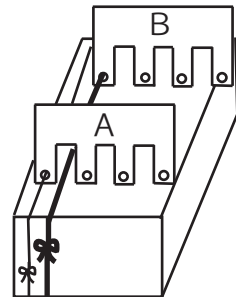
あ ばこ
空き箱ではたおりをしよう

1. たて糸をはる。

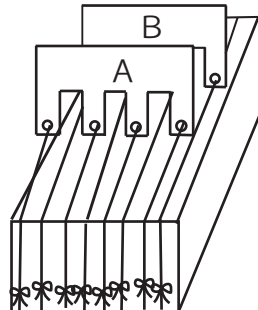
- ① そうこう(A)の穴をとおり、箱を1周して手前で結ぶ。



- ② 同じように、そうこう(B)にたて糸をとおり、1周して手前で結ぶ。

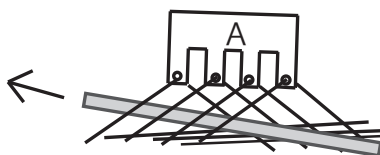


- ③ 2枚のそうこうに交互に糸をとおり、たて糸をはる。

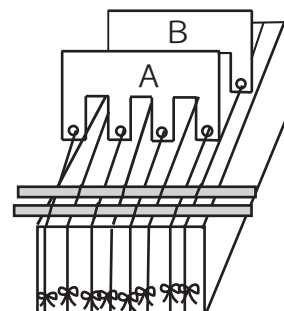


2. はたくさをとおす。

- ① そうこう(A)を持ち上げ、はたくさを1枚手前に入れる。



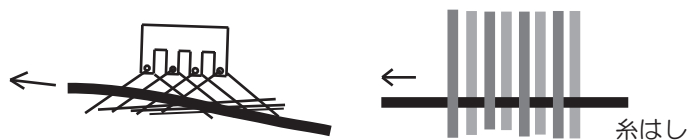
- ② そうこう(B)を持ち上げ、もう1枚のはたくさを入れる。



3. よこ糸をとおして、^お織る。

1 段目

そうこう(A)を持ち上げ、へらで止め、右からよこ糸をとおす。へらをはずし、とおしたよこ糸をよせる。



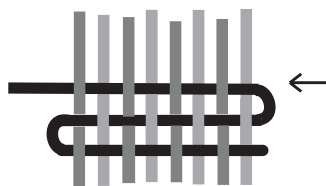
2 段目

そうこう(B)を持ち上げ、へらで止める。糸はしを2〜3センチ中にとおし、たて糸の下にだす。左からよこ糸をとおし、へらをはずしてよせる。

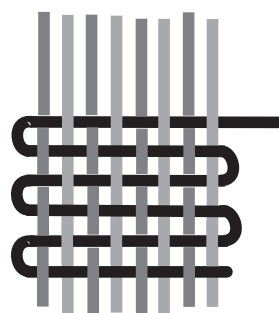


3 段目

そうこう(A)を持ち上げへらで止め、右からよこ糸をとおす。へらをはずしてよせる。

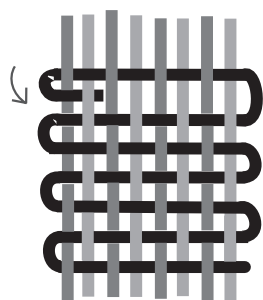


4 段目以降、くりかえしていく。

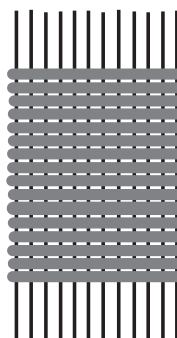


^あ編みおわり

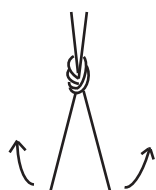
よこ糸を下の段に2〜3センチとおして糸を切る。



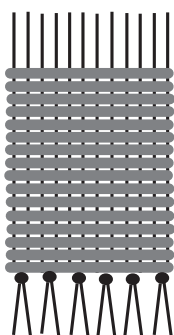
4. たて糸を切る。



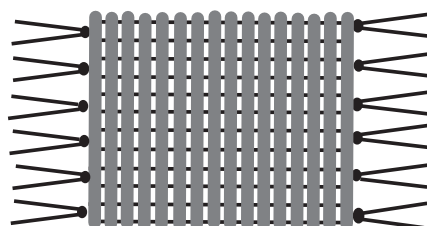
5. ふさをつける。



2本ずつまとめて結ぶ。結んだら、上にひっぱりあげる。

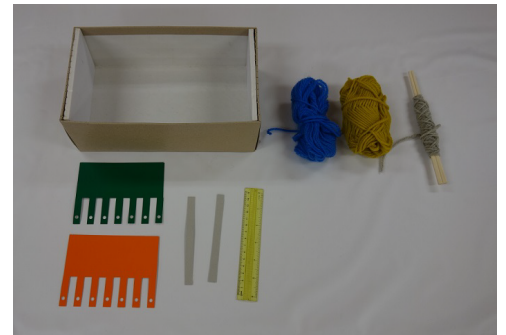


6. できあがい



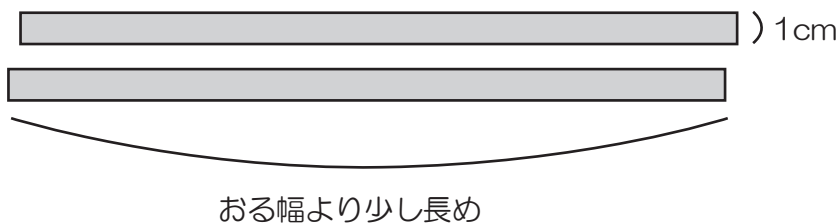
用意するもの

- 空き箱…紙がかためのもの（例 菓子箱、靴の箱）
たて糸をひっかける切り込みをいれておく
- 毛糸…太めのもの（極太）
- 厚紙…※
- 割りばし…横糸を巻く
- 定規など…へらとして使う
- 毛糸をとおす穴をあけるもの（例 目打ち、穴あけパンチ）

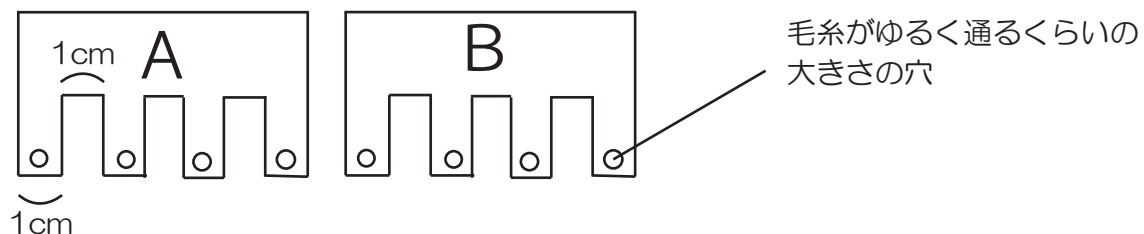


※厚紙でつくるもの

- はたくさ（おりはじめにたて糸にはさむもの）×2



- そうこう（たて糸を上下に動かすもの）×2



注意・コツなど

- 箱の中に重いものを入れておくと、動かないので織りやすい
- たて糸の張りがわるいとやりづらいのである程度ピンとはる
- 織っている途中、横糸が足りなくなったら、次の糸を重ねてつづける
- たて糸を手前にずらしていくと、どんどん長いものを織ることができる

